

みんなで作ろう 交通事故のない安全なまち

市民生活課生活安全係 ☎0824-73-1154

5月11日(金)から5月20日(日)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。一人ひとりが交通安全を意識して、未然に交通事故を防ぎ、安全な毎日を送りましょう。

春の全国交通安全運動の 3つの重点

飲酒運転の根絶

昨年の県内における飲酒運転事故の発生件数は298件で、このうち死亡事故は13件です。重大事故につながる飲酒運転は、完全に根絶しなければなりません。

飲酒運転を根絶するためには、お酒を飲む人、飲まない人に関わらず、「飲酒運転は絶対しない、させない」という心構えを持つことが必要です。

自転車の安全利用の推進

昨年、県内で自転車を利用中に亡くなられた方は25人。安全不確認などが主な原因です。

自転車を利用する際は、ルールとマナーを守りましょう。

シートベルトとチャイルドシートの 正しい着用の徹底

県内のシートベルトの着用率は運転席が94.7%、助手席が84.2%、後部座席が53%です。チャイルドシートは55.3%です。これらの着用は、事故から身を守る命綱になります。

車に乗るときは、運転手や助手席はもちろんのこと、後部座席でもシートベルトを着用しましょう。また、6歳未満の子どもには、必ずチャイルドシートを着用させましょう。

子どもたちの安全を守ろう

春は、新入学児童・生徒が慣れない道を通ることが多く、登下校時などの交通事故が心配されます。

悲惨な交通事故をなくしていくために、子どもの飛び出しに注意するなど、交通事故防止に努めましょう。

●飛び出しに注意！

小学校や幼稚園、公園などの付近では、子どもがいつ飛び出してくるか分かりません。周囲の状況を把握し、スピードを落とし一時停止や徐行するなど、普段以上に安全運転に心がけましょう。

●チャイルドシートの活用

子どもの交通事故のうち、ほぼその半分は乗車中に起こっています。車に乗せるときは特に安全運転に心がけ、チャイルドシートやジュニアシートを活用しましょう。

●家庭での交通安全指導

実際に通学路を歩いて横断や安全確認の仕方、注意すべき場所などを具体的に話し合い、道路では遊ばせないようにしましょう。

また、家を出るときは「車に気を付けて」とひと声かけてあげましょう。

●安全な服装

雨や雪の日には、普段より安全で歩きやすい服装や持ち物を持たせ、帰りが夕方など遅くなるときは、反射材用品を身体や持ち物に着用させましょう。

犯罪被害から子どもを守ろう

学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会が2月24日、庄原市総合体育館で開催され、教職員や地域住民約60人が参加しました。

講習会では、学校安全マップづくりなどの講義や演習、通学路の点検が行われました。

スクールガード養成講習会で通学路を点検▶

